

# 食材の放射能検査情報 H26-第9号

## 11月度・放射能検査の結果(ご報告)

11月の放射能検査は、総合科学新潟研究所が取りまとめている国内の放射能測定結果の取りまとめ(社内 LAN で毎週情報を共有化)を踏まえた品目・産地の選定を実施した上で、大庄基準で定めた独自のスクリーニング検査の基準による、放射能汚染の可能性がある地域および品目の放射能測定を169点実施致しました。

### 11月のスクリーニング検査結果(詳細は別紙)

検査品目数	合	否
169点	169点	0点

〔説明〕

#### 1 11月のスクリーニング検査結果

- ① 11月の検査対象点数169点について、全て安全であることを確認いたしました。
- ② 検査対象の内訳は、青果物90点、水産物42点、畜産物37点です。
- ③ 11月は、水産物の宮城県産カキについて、スクリーニング検査で安全性を確認した上で、検査の妥当性の確認のため、ダブルチェックを実施(「食材の放射能検査情報 H26-第8号」にて掲載済み)し、安全性を確認いたしました。

#### 2 今後の対応について

- ① 今後とも、新潟研究所が汚染動向を毎日把握し、注意が必要な産地・品目を明確にして食材使用に活かすとともに、必要な検査を実施してまいります。
- ② なお、東北の食材については、復興支援のために安全性を確認したものは出来るだけ使用していきたいと考えています。
- ③ 事故から3年半が経過し、通常の食品について汚染の可能性は低くなってきましたが、特定の品目では国内基準を超えるものもあるため、お客様の信頼が得られるまで、調査を継続していきたいと考えています。

<参考>

- 1 食材の使用対象(地域・品目)については、自社の総合科学新潟研究所が全国の自治体による放射能検査結果の結果を毎日把握し、出荷制限の追加・解除、50Bq以上検出された地域・品目のデータと地図を物流センターおよび各店舗に毎週提供して食材仕入れの参考にしています。
- 2 一連の取組みの徹底により、汚染された食材の使用を回避できていると考えております。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。

## 測定データ

## 食材の放射能測定結果

## 1 スクリーニング検査

測定：株式会社大庄 商品本部

// 食品衛生研究所

年・月		青果物			水産物			畜産物			合計		
		点数	合	否	点数	合	否	点数	合	否	点数	合	否
<b>H 23</b>		1,650	1,650	0	125	125	0	96	96	0	1,871	1,871	0
<b>H 24</b>		2,467	2,467	0	562	562	0	161	161	0	3,190	3,190	0
<b>H 25</b>		1,778	1,778	0	685	685	0	283	283	0	2,744	2,744	0
<b>H26</b>	1月	120	120	0	36	36	0	33	33	0	189	189	0
"	2月	113	113	0	42	42	0	27	27	0	182	182	0
"	3月	112	112	0	58	58	0	21	21	0	191	191	0
"	4月	52	52	0	39	39	0	28	28	0	119	119	0
"	5月	85	85	0	45	45	0	35	35	0	165	165	0
"	6月	85	85	0	42	42	0	28	28	0	155	155	0
"	7月	49	49	0	36	36	0	21	21	0	106	106	0
"	8月	63	63	0	0	0	0	21	21	0	84	84	0
"	9月	101	101	0	30	30	0	32	32	0	163	163	0
"	10月	88	88	0	54	54	0	45	45	0	187	187	0
"	11月	90	90	0	42	42	0	37	37	0	169	169	0